

第 132 回 医療ビジネス研究会のご案内

日本をはじめ多くの国の official modern medicine(正規医療)は「西洋医学」ですが、高齢化時代の課題のひとつに、検査をしても原因となる病気が見つからない状態への対処があります。不定愁訴とか自律神経の乱れ等、あたかも病気のように扱われ正規医療では十分には対応できていない状況も少なくありません。結果として、冗長的に薬剤が処方されるなど国民医療費の増加の一因にもなっています。

一方、生命活動を化学的に解明する生化学などの研究分野の進展により、病気、体調不良、健康のメカニズムが明らかになりつつあります。例えば、Ⅱ型糖尿病などの生活習慣病は、状況には依りますが薬剤に依存しなくとも治癒することがわかってきました。弊社でも会員(患者)が中心となる「Ⅱ型糖尿病克服患者の会」が、本年 1 月より活動を始めております。適正な栄養摂取と代謝を維持・強化する事で病の克服を目指していますが、人間の行動は目標(理論)に対して必ずしも忠実に実践できないことから、方法論も含めて実効性の高いプログラムを模索している状況です。

厚生労働省は栄養や食生活に関して様々な指標を公表しており、成人の野菜摂取量:「350g/日以上」を標準目標としています。個体差は考慮していないので、個々人の健康や栄養状態等によって対応すべきではありますが、現実には目標値には遠く及ばぬ状況のようです。(国民栄養調査)毎日野菜を大量に食べるハードルは意外と高いようですが、野菜を粉末化する事で摂取しやすくし、適宜不足分を補うことで、HbA1c(過去 1~2 ヶ月前の血糖値を反映する指標)が低下したとの実績が多く寄せられています。

今回は野菜の粉末化事業を推進するベジセレクト社の池田氏よりお話を伺います。もともと野菜の粉末化事業は生鮮食品の保存と安定供給を目的とした事業でしたが、想定外の健康効果に医療機関からも注目・協力戴けるようになりました。野菜の簡便な大量摂取を可能にしたためか、粉末化で消化吸収がより効率的に行われたためか、野菜粉末の摂取と HbA1c との因果関係は更なる研究に期待するところであります。粉末化技術や原材料へのこだわりから、野菜粉末が消化されるメカニズムや協力医療機関での臨床データ(HbA1c 以外)も可能な限り開示戴き、今後の課題等に関しましても言及戴きます。

特定の栄養素を化学的に抽出するサプリメントとは違い、限りなく食物の本来の形に近い状態で栄養摂取する事で、安全性と有効性を担保する取組みでもあります。薬剤に依存するのではなく食事や運動で生活習慣病の克服を目指す方、医療、健康、生化学分野の研究者はもとより、農業、漁業、食品等、食料(栄養)供給サイドの事業者や流通事業者まで、健康社会を目指す方には是非ともお聞き頂きたくご案内申し上げます。

2018 年 8 月

特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「適正な栄養摂取で病は治せるか?」=野菜粉末の可能性の検証現場から=
- 講師:池田 透 氏 株式会社ベジセレクト 代表取締役、九州ベジパウダー株式会社 専務取締役
- 開催日時:2018 年 9 月 6 日(木曜日)18:30~20:30

以上

※ 医療ビジネス研究会の参加には受講票が必要です。

参加を希望される方はお手数ですがホームページよりお申込ください。